

令和5年度 西区運営方針

(所属長： 三村 浩也)

「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」	
目標	「誰もが誇りに思える西区」 <ul style="list-style-type: none"> 区民がどこに行った時でも、「私の住んでいる西区はこんなに素晴らしいところ」と自慢できるような西区の実現
使命	<ul style="list-style-type: none"> 安全で安心なまちづくりに向けたコミュニティ力の向上 こども・子育て施策の充実 区長の権限・責任の拡充と区民参画のさらなる推進
令和5年度所属運営の基本的な考え方	上記の「使命」を継続して果たしながら、「誰もが誇りに思える西区」の実現に向け、とりわけ「町会加入促進支援」、「窓口改革」、「ICTの活用」に力点を置き取り組んでいく。

重点的に取り組む経営課題

経営課題1-(1)地域コミュニティの活性化

		3決算額	73百万円	4予算額	89百万円	5予算額	92百万円
課題認識	<ul style="list-style-type: none"> 町会加入の促進をはじめ、人と人のつながりづくりの活動を支援する必要がある。 地域活動協議会をはじめ、地域活動の活性化を支援する必要がある。 多様な活動主体のネットワークづくりの促進を支援する必要がある。 						
主な戦略	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人につながりづくりの大切さと地域活動への興味をもってもらい、地域活動に参加してもらえるよう、事例の共有や情報発信を行う。 マンションコミュニティの活性化に向けて、マンションの状況・ニーズに応じた支援を検討・提供するとともに、マンションに共通する特有の課題について共有できる場を創出するなど、マンション間の連携や、地域コミュニティとの連携が図れるように支援する。 地域活動協議会が活動の透明性を確保しつつ各地域の特色や課題、ニーズに応じ、自律的な地域運営を促進できるよう支援する。 活動の芽が大きく育っていくよう、多様な活動主体が協働して取り組む機会を創出する。そのため、活動主体相互及び区役所との連携・協働などのネットワーク拡充に向けたきっかけづくりの支援を行う。 						
アウトカム指標 (経営課題の進捗度 合を示した指標)	各団体により地域の特性や課題に応じた活動が進められていると感じている区民の割合：48%以上						
	地域活動協議会を知っている区民の割合：40%以上						
	活動主体相互や区役所との連携・協働が図られた団体・件数：3団体以上						
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	5年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成						前年度実績

経営課題1-(2) 安全・安心で快適なまちづくり

3決算額

21百万円

4予算額

24百万円

5予算額

24百万円

課題認識

- ・災害に強いまちづくりを実現する必要がある。
- ・街頭犯罪や交通事故件数を減少させ、区民が安全で快適と感ずることができる居住環境づくりを行う必要がある。
- ・医療・保健・福祉にかかわる支援者が相互に連携し、地域住民と協働し、地域で互いに理解し気かけ支え合って暮らす仕組みを構築することで、誰もが自分らしく生き生きと暮らせるまちづくりを実現する必要がある。

主な戦略

- ・防災訓練や講座・ワークショップを通じて、区民・事業者の皆さんの自助・共助の意識向上を図る。
- ・青色防犯パトロール活動や防犯・交通安全の啓発活動など、地域や関係機関と協働して取り組むことにより、区民の防犯・交通意識の向上を図るとともに、犯罪が起こりにくい地域環境の整備や自転車利用者のマナーの向上を図る。
- ・高齢者・障がい者などに対する住民主体の見守り活動などを支援し、地域住民と協働することにより、必要な支援につながる仕組みづくりに取り組む。
- ・地域福祉活動の交流の場を確保することにより、地域住民がお互いに理解し気かけ支え合うまちづくりをめざす。

アウトカム
指標(経営課題の進捗度
合を示した指標)

- ・家庭や地域で防災対策を講じている区民アンケート回答者の割合：56%以上

- ・地域で安心して暮らせると感じている区民の割合：80%以上

アウトカム
指標の達成状況
(定量評価)

5年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成

前年度実績

令和5年度 西区運営方針

(所属長 : 三村 浩也)

重点的に取り組む経営課題

経営課題2-(1) 安心して子育てや教育ができる環境づくり

3決算額

11百万円

4予算額

14百万円

5予算額

13百万円

課題認識

- ・保護者が安心や喜びを感じながら子育てができるよう、その環境を充実する必要がある。
- ・立案段階から学校長及び保護者・地域住民等と意見交換を行い、学校・地域の実情に応じた施策・事業に持続的に取り組むことで、学校の課題解決に寄与していく必要がある。

主な戦略

- ・安心して子どもを産み、育てられるように、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談支援体制を構築するとともに、積極的に情報を発信する。
- ・子ども相談センターや地域における支援者等との連携強化を図り、児童虐待の防止に努める。
- ・教育行政連絡会や教育会議等で学校や地域の支援ニーズを把握し、区長自由経費と校長経営戦略予算（区担当教育次長枠予算）を活用することで、西区の実情に応じた学校教育支援事業を展開する。

アウトカム
指標(経営課題の進捗度
合を示した指標)

- ・安心して子育てができる環境が整っていると感じているとアンケートで回答した保護者の割合：85%以上
- ・区が、学校・地域の実情に応じた学校教育支援を行い、学校の課題解決に寄与していると感じている学校及び西区教育会議委員の割合：80%以上

アウトカム
指標の達成状況
(定量評価)

5年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成

前年度実績

経営課題3-(1) ニア・イズ・ベターを徹底するための区役所づくり

3決算額

194百万円

4予算額

217百万円

5予算額

242百万円

課題認識

- ・区民に行政情報を十分に届けたうえで、区民の声が反映される区政を推進する必要がある。
- ・区役所職員が親切・丁寧・的確な窓口対応を行い、区民の皆さんに信頼されるよう改革を行う必要がある。
- ・区民の利便性の向上、また区役所業務の効率化のため、ICTを活用した区行政を推進する必要がある。

主な戦略

- ・広報紙、区HP、SNSなどあらゆる媒体を駆使して、区民が区政情報によりアクセスしやすい環境を整える。
- ・区政会議においていただいた質問や意見に対する区の基本的な方針を示すなどフィードバックを行うとともに、次年度の運営方針や予算、当年度の施策などに活かす。
- ・区民が快適で利用しやすい区役所となるよう、引き続き待ち時間の改善及び庁舎案内や窓口での対応の向上改善に取り組んでいく。
- ・マイナンバーカード、行政オンラインシステム等を活用した手続きの普及を進め、区民の利便性の向上と事務の効率化を図る。
- ・区民がスマートフォンなどの身近なICT機器を活用して行政サービスを楽しむよう取り組んでいく。

アウトカム
指標(経営課題の進捗度
合を示した指標)

- ・区役所からお知らせすべき情報が適切に発信されていると感じる区民アンケート回答者の割合：60%以上
- ・区政会議において、各委員からの意見や要望、評価について、適切なフィードバックが行われたと感じる区政会議の委員の割合：80%以上
- ・区役所窓口が適切な対応をしていると感じるアンケート回答者の割合：76%以上
- ・コンビニでの証明書発行割合 35%以上

アウトカム
指標の達成状況
(定量評価)

5年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成

前年度実績

自己評価
(運営方針全体の
定性評価)

今後の方針